

はつらつ体験塾 通信



第3回はつらつ体験塾フレンドリーキャンプ号 令和5年12月25日
新潟県少年自然の家

クリスマスの雰囲気味わい、笑顔で溢れました

12月16日(土)から17日(日)にかけて、「第3回はつらつ体験塾 フレンドリーキャンプ」が開催されました。参加者たちは自然の家での宿泊に期待と不安を抱えながら、大きなボストンバッグを抱えて、総勢35名が会場に集まりました。その様子をご報告いたします。

【1日目日程】

13:00	13:30	14:15	15:20	17:30	18:30	19:30	21:30
受付	出合いのつどい	オリエンテーション	クリスマスクッキング	夕食	キャンドルファイア	入浴	就寝

出合いのつどいでは、所員、学生ボランティア、参加者が心温まる雰囲気の中で交流の輪を広げました。始まりはシンプルなじゃんけんからスタートし、参加者の表情が徐々に笑顔に。次の自己紹介で、好きな食べ物や出身地などを伝え合うことで、参加者同士の理解が深まりました。そのあと体を使った運動へと進み、仲間同士が協力し合いながら楽しいひとときを過ごしました。特に、一緒に行った活動で上手くできた瞬間は、参加者たちが共感し合い、喜びを分かち合う瞬間となりました。



クリスマスクッキングでは、ピザづくりとホットケーキづくりが行われ、参加者は生地をこねたり焼いたりしながら楽しいひとときを過ごしました。ピザづくりでは、粉に水を混ぜてこねる生地づくりから始まり、照り焼きソースとトマトソースの2種類のピザを作りました。ホットケーキはたこ焼き型にして、最後にホイップクリームとチョコのデコペンでデコレーションをしました。ピザとホットケーキがテーブルに並び、最後には食堂で作った唐揚げとフライドポテトで準備が完了。ジュースで乾杯して、クリスマスの雰囲気を楽しみました。



キャンドルファイアでは、グラスキャンドルを灯し、幻想的な雰囲気を楽しむ「灯火のつどい」が行われました。炎の揺らめきを眺めながら、自己を見つめる良い時間となりました。ビンゴ大会では揺らめく炎をバックに大画面にビンゴの番号を映し出し、ビンゴができると「できた!」と喜びました。ビンゴの景品は自由時間に遊ぶおもちゃ。キャンドルファイアのしっとりとした雰囲気とビンゴ大会の「わっ!」と盛り上がる様子がとても印象的でした。



【2日目日程】

6:30	7:00	7:30	8:30	13:00
起床	部屋点検	朝食	電車に乗ってランチ ※悪天候で電車遅延のため、バスでイオンまで向かいました。	別れのつどい

2日目に突入すると、悪天候で電車の運行に影響が出たため、計画が変更されました。電車に乗るはずだったところ、バスでの移動に切り替えてイオンでの活動を楽しむことになりました。まずはイオンにあるたくさんのお店を探索することから始めました。班ごとに分かれ、お店を巡りながら欲しい商品や魅力的なものを見つけ出しました。

ランチの時間になると、フードコートやファミレスでの食事がメインのイベントとなりました。各自が好きな料理を注文し、うどんやハンバーガー、ドリアなど、バラエティ豊かなメニューからチョイス。子供たちはお互いの好みや興味を共有しました。笑い声が飛び交い、食事を共にすることで結束が深まりました。食事の後は、お楽しみのアイスを注文する班もあり、デザート時間もまた楽しいひとときとなりました。

そして、食後にはお買い物の時間。ランチ前に計画的に選んでいたお店で買い物を楽しみ、小物や文房具を手に入れながら、新たな友達との関わりを深めました。

この2日間を通して、子供たちは協力し合い、困難に立ち向かいながらも楽しい時間を共有し、新しい友達との出会いに心躍らせたことでしょう。そして、自分たちの成長を実感したことでしょう。次回の「チャレンジキャンプ」ではどんな新たな挑戦が待っているか、お楽しみに!!



はつらつ体験塾担当：駒形 誠 星野 貴之 天木 享